

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-03-14

甲第十八号

(発行年 / Year)

1910



甲第十八號

明治二十七年十一月六日配付

第九章 質權

第一節 總則

第三百四十條 質權者ハ其債權ノ擔保トシテ債務者又ハ
第三者ヨリ受ケタル物ヲ占有シ且其物ニ付キ他ノ債權
者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

(參照)三三三、增九七、二〇八一項、一一、一一六、一項二項佛二
〇七三、澳四四七、關一一九六、伊一八七八、一八七九、西一八五
七、一八五八、白草二一四〇、二一四二、獨一章一一四五、一項一
一五二、一一五三、同二章一一三、一項一一七

第三百四十一條 質權ハ債權者ニ其目的物ノ引渡ヲ爲ス
ニ因リテ之ヲ設定ス

(參照)增一〇〇乃至一〇二、一一九、一項二項、一二〇、一項一二
二、商三六七乃至三六九、三七八、三七九、佛二〇七、四二〇、七六
澳四五、一四五、二、關一一九六、一一九八、伊一八八〇、一八八二、
瑞債務法二一〇、二一二、二一九、モンテネグロ一七二、一七三

西一八六三、一八六五、白草二一四〇、二一四六乃至二一四九
獨一章一、一四七、一項三項同、二章一、一四一、一一五

第三百四十二條 質權ハ設定行爲ニ別段ノ定ナキトキハ
元本利息違約金債務辨濟ノ請求費質權實行ノ費用買物
ノ保存費及ヒ債務ノ不履行又ハ買物ノ隠レタル瑕疵ヨ
リ生シタル損害ノ賠償ヲ擔保ス

(參照) 擔一〇九、一一一、一三〇、商三七五佛二〇、八〇、二項二〇、
八二、一項、モンテチドロ一七五獨一章一、一四八、二一四九同
二章一、一一〇

第三百四十三條 質權者ハ前條ニ掲ケタル債權ノ辨濟ヲ
受クルマテハ買物ヲ留置スルコトヲ得但し債權ノ辨濟
期ニ在ルト否トヲ問ハス自己ニ對シテ優先權ヲ有スル
債權者ノ爲メニスル買物ノ差押假差押假處分及ヒ競賣
ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十六條乃至第二百九十九條ノ規定ハ質權ニモ
亦之ヲ適用ス

(參照) 二九六乃至二九九擔一〇、六一〇、八一〇、一一四一、一
六一項、二八乃至一三〇、民訴五六五、一項佛二〇、七九二、一〇
八二、一項、獨一一〇、五一項、伊一八八、八一項、瑞債務法二二、
モンテチドロ一七四西一八六、白草二一五四、獨一章一、一
五三、一、一六六、同、二章一、一三九

第三百四十四條 質權者ハ其權利ノ存續期間内ニ於テ自
己ノ責任ヲ以テ買物ヲ轉質ト爲スコトヲ得此場合ニ於
テハ轉質ヲ爲ササレハ生セサルヘキ不可抗力ニ因ル損
失ニ付テモ亦其責ニ任ス

(參照) 二九七、二項、擔一〇、七一、二四二、項、澳四五四、四五四、六
〇、瑞債務法二一八、モンテチドロ一七九西一八五九

第三百四十五條 買物カ毀損シ又ハ著シク其價格ヲ減ス
ル虞アルトキハ質權者ハ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ
他ノ擔保物ヲ供スヘキ旨ヲ質權設定者ニ請求スルコト
ヲ得若シ質權設定者カ其期間内ニ他ノ擔保物ヲ供セサ
ルトキハ質權者ハ買物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ遲滞ノ爲メ擔保ヲ失フ危險アルトキハ質權者ハ直ニ競賣ヲ請求スルコトヲ得

(參照)六年一月一八號達地所買入書入規則一二澳四五八獨一章七一五七同二章一一二七一一二八

第三百四十六條 第三百四條及ヒ第三百五條ノ規定ハ質

權ニモ亦之ヲ適用ス

(參照)二九六三〇四三〇五捕一〇五一二二二二二三三佛二〇八三蘭一二〇六一八八九一九五一瑞債務法二二一、モンテネグロ一七四西一八六〇白草二一五五獨一章一一五〇同二章一一二二一

第三百四十七條 質權ヲ以テ擔保セル債權及ヒ質物ノ所

有權カ同一ノ人ニ歸スルトキハ質權ハ消滅ス但其債權又ハ質物カ第三者ノ權利ノ目的タルトキハ此限ニ在ラ

ス

(參照)獨一章一一九三同二章一一六三

第三百四十八條 他人ノ債務ヲ擔保スル爲メ質權ヲ設定

シタル者カ債權者ニ辨濟シ又ハ質權ノ實行ニ因リテ質物ノ所有權ヲ失ヒタルトキハ保證債務ニ關スル規定ニ從ヒ債務者ニ對シテ求償權ヲ有ス

(參照)捕九八一七商三八三佛二〇七七伊一八八五獨一章一一六四同二章一一三二

第二節 動産質

第三百四十九條 動産質權者ハ繼續シテ質物ヲ占有スル

ニ非サレハ其質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス但第二百一條ノ規定ニ從ヒ占有回收ノ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

(參照)二〇一二〇四捕一〇二一二二佛二〇七六澳四五一一四五二四六六蘭一一九八伊一八八二瑞債務法一一九モンテネグロ一七二一七三西一八六五一八六九二項白草二一四九獨一章一一四七一項三項一一五五同二章一一一四一一一五一三四

第三百五十條 第三百九十二條乃至第三百九十五條ノ規定ハ

動産質ニ之ヲ準用ス

(參照)一九二乃至一九五 證一四四乃至一四八 商三八〇、三八一、一四四、五六 瑞債務法二一三、獨一章一、一四七、二項、同二章一、一六

第三百五十一條

動産質權者カ其債權ノ辨濟ヲ受ケサルトキハ正當ノ理由アル場合ニ限リ鑑定人ノ評價ニ從ヒ質物ヲ以テ辨濟ニ充ツルコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但豫メ債務者ニ其請求ヲ通知スルコトヲ要ス

(參照)摺一、二、佛二〇、七八、南一、二〇、二、二項、伊一八八、四、二項、瑞債務法二二、三、西一八五、九、一八七、二、白草二一五〇、獨一章一、一六五、一項、同二章一、一三五、一項

第三百五十二條

數個ノ債權ヲ擔保スル爲メ同一ノ動産ニ付キ質權ヲ設定シタルトキハ其質權ノ順位ハ設定ノ前後ニ依ル

(參照)商三七、七八、三七、九、瑞債務法二一七、獨一章一、一五一、同二章一、一八

第三節 不動産質

第三百五十三條

不動産質權者ハ其權利ノ存續期間内ニ於テ其不動産ノ用方ニ從ヒ使用又ハ收益ヲ爲スコトヲ得

(參照)二九七、二項、三四三、二項、摺一、二、四、一項、白草二一五八、第三百五十四條 不動産質權者カ自ラ不動産ヲ使用スル場合ニ於テハ其不動産ノ負擔及ヒ管理ノ費用ヲ拂フコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ質權者ハ其債權ノ利息ヲ請求スルコトヲ得ス

(參照)摺一、二、五、一、二、六、一項、三項、六年一月一八號、達地所賣入書入規則六、佛二〇八、六、伊一八九、二、モンテチタロ一八五、西一八八、二、白草二一五九

第三百五十五條

不動産カ果實ヲ生スル場合ニ於テハ質權者ハ其果實ヨリ不動産ノ負擔及ヒ管理ノ費用ヲ控除シ其殘額ヲ以テ第二百九十六條ノ規定ニ從ヒ債權ノ辨

濟ニ充當スルコトヲ得
田畑山林ノ質ニ付テハ果實ト利息トハ計算セスシテ相
殺シタルモノト推定ス

(參照) 二九六 掃一二五、二六六年一月一八號 達地所買入書
八規則一六 佛二〇八五二項二〇八六一、一八九一、一八九二、
モンテチテドロ一八五西一八八一、一八八二、白草二一五七二
項二一五九

第三百五十六條 前三條ノ規定ハ設定行爲ニ別段ノ定ア
ルトキハ之ヲ適用セス

(參照) 掃一二六二項佛二〇八六二〇八九伊一八九二、一八九
五、モンテチテドロ一八五西一八八一、一八八五、白草二一五九
二一六六

第三百五十七條 不動産質權者ハ其不動産ノ賣却代金ニ
付キ抵當債權者ト同一ノ權利ヲ有ス

(參照) 掃一一六二項佛二〇八五二項二〇九一、同千八百五十
五年三月二十三日法二同千八百五十一年三月三十一日千
八百六十五年八月二十九日大審院判決、白草二一六七

第三百五十八條 不動産質ノ存續期間ハ十年ヲ超ユルコ
トヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ不動産質ヲ設定シ

タルトキハ其期間ハ之ヲ十年ニ短縮ス

不動産質ノ設定ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更
新ノ時ヨリ十年ヲ超ユルコトヲ得ス

(參照) 掃一一六三項四項六年一月一八號 達地所買入書八規
則四、モンテチテドロ一八七乃至一八九

第四節 權利質

第三百五十九條 質權ハ權利ノ上ニモ之ヲ設定スルコト
ヲ得

前項ノ質權ニ付テハ本節ノ規定ノ外第一節ノ規定ヲ準
用ス

(參照) 佛二〇八一、蘭一二〇四、伊一八八六、瑞債務法二一六西
一八六八、白草二一四四、二一五三、獨一草一二〇六、同二草一
一八〇

第三百六十條 質權ノ目的タル債權ノ證券アルトキハ質

權ハ其證券ノ交付ヲ爲スニ因リテ之ヲ設定ス

(參照)三四一、掬一〇二三項一〇三一項四項商三六九三七〇、
關一一九八一項瑞債務法二二二一四獨一草一二二五同
二草一一九九

第三百六十一條

記名債權ヲ以テ質權ノ目的トシタルト
キハ債權讓渡ニ關スル規定ニ從ヒ第三債務者ニ其設定
ヲ通知シ又ハ第三債務者カ之ヲ承諾スルニ非サレハ質
權者ハ其質權ヲ以テ第三債務者其他ノ第三者ニ對抗ス
ルコトヲ得ス

(參照)掬一〇三一項乃至三項商三六六一項三八六一項佛二
〇七五關一一九九伊一八八一項瑞債務法二一五獨一草一二
〇八一二二二同二草一一八一一項一一八七

第三百六十二條

會社ノ記名株式又ハ社債ヲ以テ質權ノ
目的トシタルトキハ株式又ハ社債ノ讓渡ニ關スル規定
ニ從ヒ之ヲ會社ニ通知シ其帳簿ニ記入スルニ非サレハ
質權者ハ其質權ヲ以テ會社其他ノ第三者ニ對抗スルコ

トヲ得ス

(參照)掬一〇四

第三百六十三條

手形其他裏書ニ依リテ讓渡スコトヲ得
ヘキ債權ヲ以テ質權ノ目的トシタルトキハ其證券ニ質
權設定ノ旨ヲ裏書スルニ非サレハ質權者ハ其質權ヲ以
テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

(參照)掬一〇三四項商三六九三七〇佛二〇八四關一一二〇七
伊一八九〇瑞債務法二二二一四獨一草一二二五同二草
一一九九

第三百六十四條

質權者ハ質權ノ目的タル債權ヲ直接ニ
取立ツルコトヲ得

債權ノ目的物カ金錢ナルトキハ質權者ハ自己ノ債權額
ニ對スル部分ニ非サレハ之ヲ取立ツルコトヲ得ス

右ノ債權ノ期限カ質權者ノ債權ノ期限前ニ到來シタル
トキハ第三債務者ハ其辨濟金額ヲ供託スルコトヲ要ス
債權ノ目的物カ金錢ニ非サルトキハ質權者ハ辨濟トシ

テ受ケタル物ノ上ニ質權ヲ有ス

(參照) 摺一〇八二項商三八六二項民訴六〇〇瑞債務法二二三
三獨一章一二一七一二一八一項二項一二一九回二章一一
八八乃至一一九五回民訴七三六

第三百六十五條

質權者ハ前條ノ規定ニ依ル外民事訴訟
法ニ定ムル執行方法ニ依リテ質權ノ實行ヲ爲スコトヲ
得

(參照) 摺一〇八二項商三八六二項民訴六〇〇六一三瑞債務
法二二三獨一章一二一八一項回二章一一八九一一九一回
民訴七三六七四三



甲第十九號

明治二十七年十一月二十四日配付

第十章 抵當權

第一節 總則

第三百六十四條

抵當權者ハ債務者又ハ第三者カ占有ヲ
移サスシテ債務ノ擔保ニ供シタル不動産ニ付キ他ノ債
權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス
地上權及ヒ永小作權モ亦之ヲ抵當權ノ目的ト爲スコト
ヲ得此場合ニ於テハ本章ノ規定ヲ準用ス

(參照) 摺一九五一九七六年一月十七日告一八號地所質入書

入規則二三八年九月三十日告一四八號建物書入質規則一
佛二一一四二一一八二一一九澳四四七四四八四五〇隔一
二〇八一二一〇二二一三伊一九六四一九六七ウター一五
八四一五八六ダラウブユンデン二八〇ツユリヒ三二六
三二七モンテチダロ八六五西一八五七一八五八一八七四
白草二二三八二二四二二四四回千八百五十一年十
二月十六日法四一四五一項四六獨二章一〇二二二〇二三